

第33回日本消化器がん検診学会近畿支部 保健衛生研修会 アンケート集計

【1】職種をお答えください。

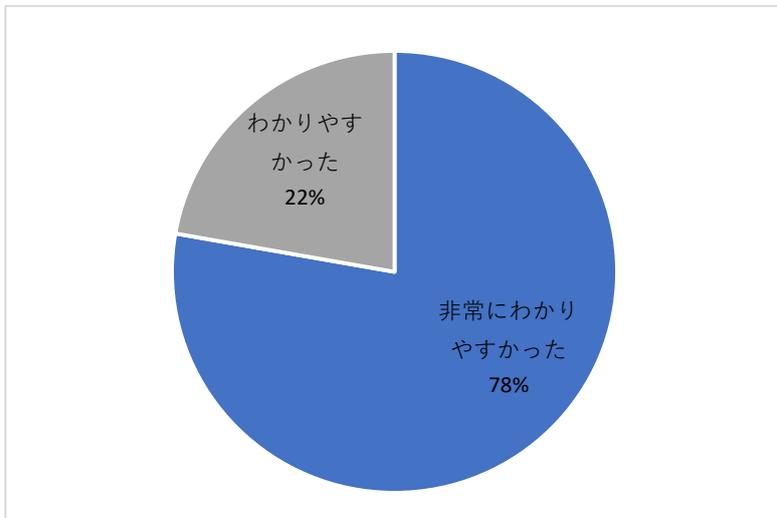
保健師・看護師	10
医師	3
放射線技師	19
臨床検査技師	2
事務職	1
その他	1
合計	36

【2】府県名をお答えください。

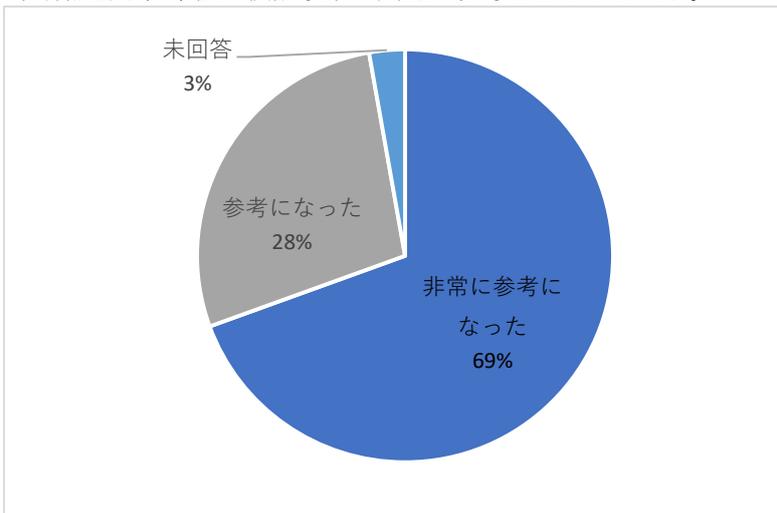
京都府	5
滋賀県	1
兵庫県	14
奈良県	1
大阪府	10
和歌山県	3
富山県	1
愛知県	1
合計	36

【3】講演 『精度管理なきがん検診はがん対策にあらず

近畿圏域における胃がん・大腸がん検診の『いま』 - the path to the future -』はいかがでしたか。



【4】本研修会は、今後の検診事業の実施に参考となりましたか。



【5】 今回の研修会について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

検診(スクリーニング)の目的を取扱医療機関の先生にご理解いただくのが大変難しいと感じております。医療機関向けの研修資料もあれば大変助かります。(既に取りましたらすみません勉強不足です)
市町村が報告している統計が、どのように活用されているかを知る機会となった。前立腺がん検診、やめにくいです。住民に議会にどのように報告すれば良いのでしょうか？
もっと多くの自治体の担当者の方に聴いていただきたい内容でした。参加案内をもう少し早く広くお願いします。
大変参考になった。
新基準等うかがい期待通りでした。
大変勉強になりました。
がん検診の精度管理について詳しく説明していただいて、とてもわかりやすかったです。近畿のデータもあり、少しでも基準値に近づければいいなと思いました。
自分の県のことが分かって、どこを対策していくのか分かった。
兵庫県は他府県に比べ精検受診率などが低いため、今後受診率を上げることを課題とし、検討していきたいと思います。
わかりやすい説明で今後の課題(がん検診の実施について、集計結果など)がはっきりわかりました。現状把握をしっかり行い今後のやり方等見直していきたいと感じました。
消化器がん検診学会に初めて参加しました。とてもわかりやすく、あやふやだったことがつながりました。ありがとうございました。
改めて精度管理を考える機会となりました。とてもわかりやすく指針に基づかない検診の検討など引き続き行って行きたいと思いました。
とてもわかりやすくよかったです。
大変参考になりましたので、スライド資料をいただきかったです。
精度管理について非常によくわかりました。本府の研修会でご講演いただきたいと思いました。(京都府の集計値の間違については市町村と調整済みです)
新基準値の作成課程・使用方法について知ることができてよかった。
プロセス指標値の新基準値について理解ができました。がん検診の三本柱をしっかり取り組んで精度管理をしていけたらと思います。
がん検診の精度管理について、新しい基準値の理解の説明がよかった。
大変よかった。

【6】 消化器がん検診で、今後取り上げてほしいテーマがあれば、お聞かせください。

各県の精度管理の具体的な方法を県の担当の方に紹介してもらいたいです。(今日の講義をふまえて 取り組み方法等)
よくするミスやエラーについて
胃内視鏡検査の精度管理について